

マンガでよくわかる!! ①

自主保全入門

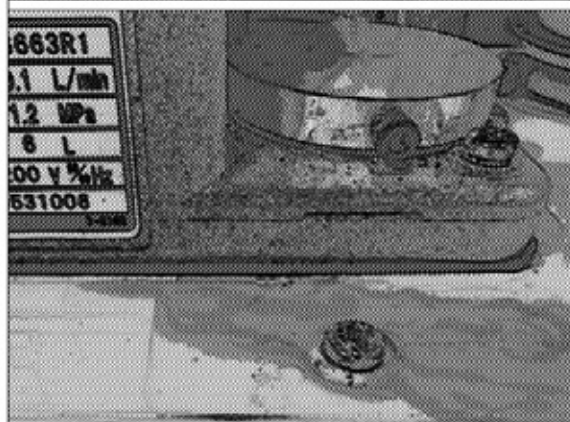
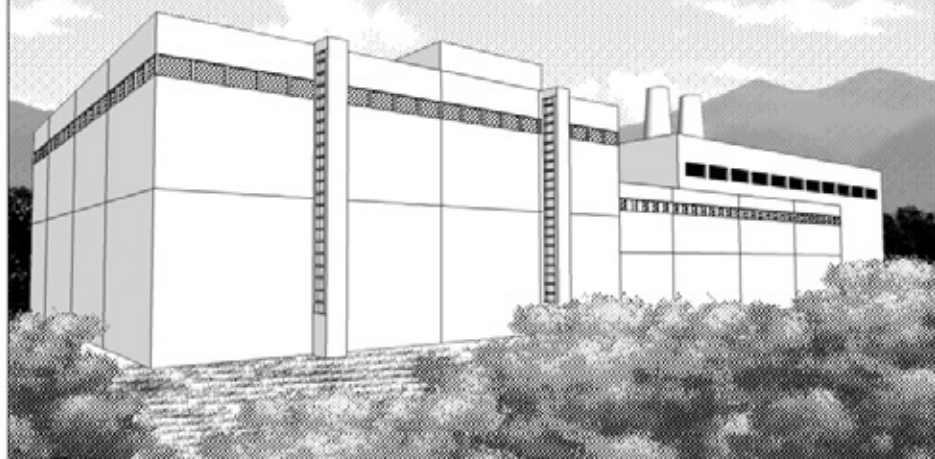


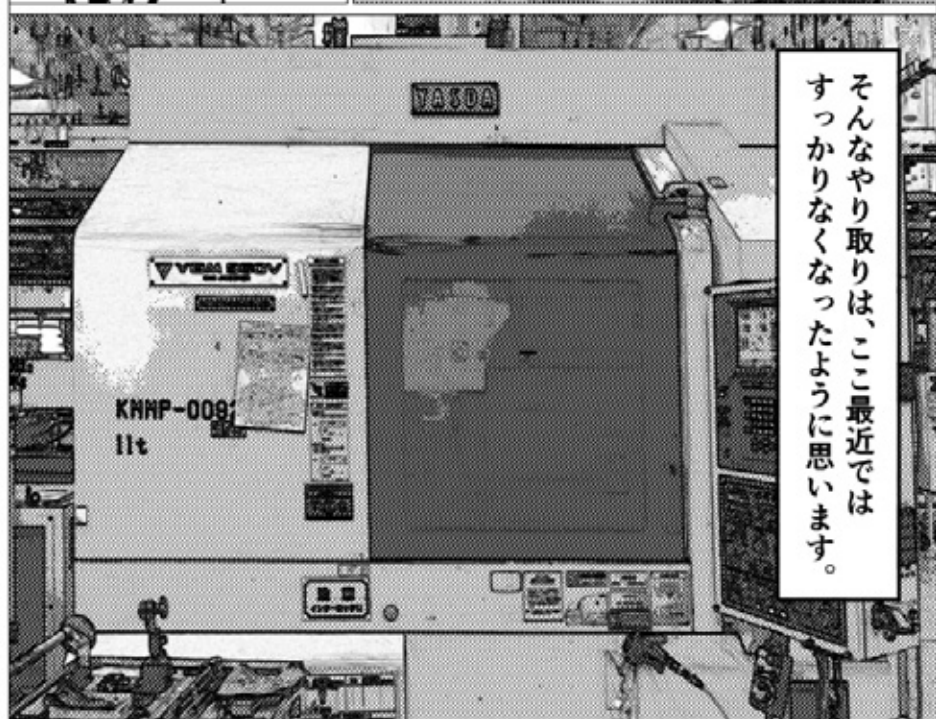
原作：『本当の自主保全』（作：トヨタ自動車株式会社 酒井俊介氏）



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

モノづくりエンジニアリング部





私の仕事は、マシニングセンタを操作し
金型を加工・測定し後工程に良品を送る事です。

ただ加工するだけでなく、
「もっとこうしたら早く加工できないか、
精度良くならないか」を常に考え、
日々提案改善していくことが、
とても重要な役割になります。

また、それ以外にも設備の潤滑油の補充や
主軸の清掃なども行っていました。

ある日私は、設備の裏で
少量の油漏れを発見しましたが、
「この程度の量なら報告しなくていいか」と
判断し、軽く拭き取って済ませました。

この行為は、当時の職場環境では
ごく自然なことでした。

少量であれば、たとえ上司に報告しても
「軽く拭いて様子を見ておいてくれ」と
言われることは明白でした。

そして、油漏れが酷くなってきたら
初めて保全部署に連絡する、
それが普通の対応でした。



そんな状態で設備修理を任された保全部署は、まず漏れの発生源を探し当てることから始め、その原因を特定し修理方法を決め、期間を決めて作業します。



いつから漏れてますか？

どれくらいの頻度で漏れてますか？

保全部署からの問いかけに、ハッキリと答えられる人はいません。

誰がいつ発見し、拭いているかなんて
わからないからです。



それが原因で、修理期間が長くなったり、
修理が終わって数日後にまた油が
漏れてくることは珍しくありませんでした。



そんな状況を異常と捉え、
自主保全の役割・重要性を教えようと
動いてくれた人がいました。



生産で忙しい時期にも関わらず、
仕事を止め、人を集め、機を飛ばしました。

保全部署の方達による
設備メンテナンスの講座も開かれました。



なぜそこまでやる必要があるのか、
そんな疑問が解消されるまで、
そう長くありませんでした。

『自主保全』という言葉は講座の中で
何度も耳にしました。

もちろん、以前から聞いたことがあった
ワードでしたし、給油や主軸の清掃は
行っていたので、自主保全は自分では
やれていると思っていました。

しかし実際はそれだけでは
足りなかったのです。





自主保全の基本は、
清掃・給油・増し締めです。



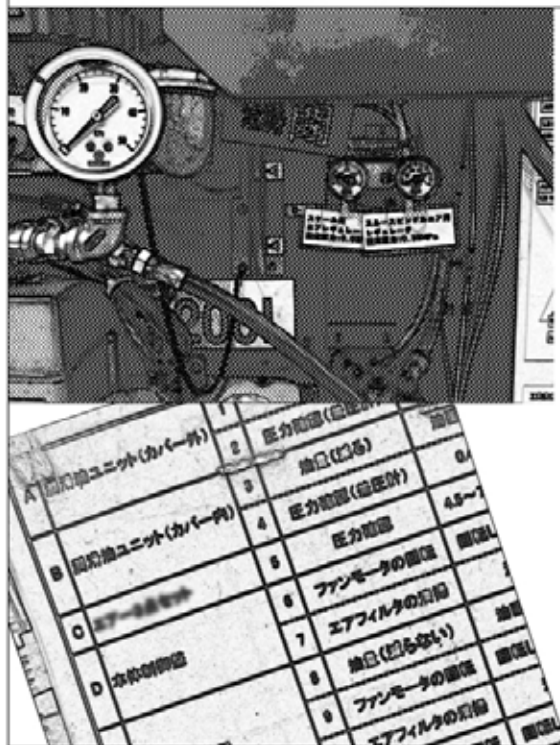
そのことを知っていながら
なぜ足りないのか、

それは、なぜやっているか
理解していなかったからです。

清掃していればいい、油が少なくなったら
給油すればいいというわけではないのです。



それらを行うことで、
「いつもより汚れが多くないか？」
「いつもより油の減り方が早くないか？」
という僅かな変化に気付きやすい環境を
作ること、
そしてその傾向を管理し異常を未然に
防止することこそが
本当の自主保全なのです。



自主保全の役割・重要性が職場に浸透し
私自身の意識も変わったこともあり、
今では日々の始業前点検の質を上げるために
点検項目を増やし、その分時間をかけないよう
点検のメーターを1カ所に集める改善や、
いつもと違う僅かな変化などを目付と発見者を
合わせて記入する用紙を作成するなど、
点検・傾向管理しやすい環境づくりが進んでいます。

保全部署に連絡する際も、傾向管理を
しっかり行っているおかげで、
修理期間の短縮や、
以前まであった修理が終わって
数日後に再発するケースもなくなり、
私たちの活動が良い結果に
繋がっていることを実感しています。



自主保全に興味を持った私はその年、
自主保全士検定1級に挑戦。



見事に合格し、
自分自身の成長を感じることができました。





この活動を通して、
私たちの職場は
大きく変わりました。

1人1人が設備と向き合い、
対話し、メンバー間で
コミュニケーションを取り、
全員参加で保全を行う。
それは、私たちの重要な役割です。



現状に満足せず、更なるレベルアップを目標に、
今後も自主保全活動を推進していきます。

このマンガは、『本当の自主保全』(作：トヨタ自動車株式会社 酒井俊介氏)の体験談をもとに作成しています。

マンガでわかる「自主保全士入門」を、 さらに理解する ワンポイントレッスン!!

オペレーターの皆さんは、

日々、使用している設備へ、さまざまな方法で、
維持・管理に取り組まれているかと思います。

その代表的な活動として、主人公のように、

「清掃」を取り入れている方は、
多いのではないのでしょうか？



今回は、みなさんがしているその「清掃」をテーマに、

ワンポイントレッスン!! をしましょう!!



ワンポイントレッスン!!

清掃は、きれいにすることが目的なの!?



設備を清掃すると、
きれいになって、使いやすくなりますよね。
でも、清掃の目的は、それだけではありません!!

▶ 清掃することが点検になる!!

清掃を続けることにより、
使用している設備のベストなコンディションを把握することができます。
その結果、清掃中に、「何かが漏れてる?」「変な音がする?」などの
いつもと異なる設備のコンディションを気付くことができます。



いつもと違うコンディションの例

・漏れ・汚れ・きず・ガタ・ゆるみ・付着・振動・異音

清掃は点検なり。点検は不具合の発見なり。

～自分の設備は、自分で守る!!～



清掃の目的を表す言葉として、こんな言葉があります。
「**清掃は点検なり。点検は不具合の発見なり**」
これは、「**自分の設備は、自分で守る!!**」ことにつながり、
清掃は、そのための能力を高める効果もあります!!

▶ 清掃することで、高められる能力



異常発見能力

→ 異常を異常として見ることができる能力



処置・回復能力

→ 異常に対して、正しく処置が迅速にできる能力

この能力は、
自主保全の基礎
となる能力



自分の設備は、自分で守る ためには、 「自主保全活動」が基礎にあり!!



自主保全活動 や、それに関わる知識を得ることで、清掃の効果をさらに高め、「自分の設備は自分で守る」さらに高いレベルの生産活動をすることができます!!



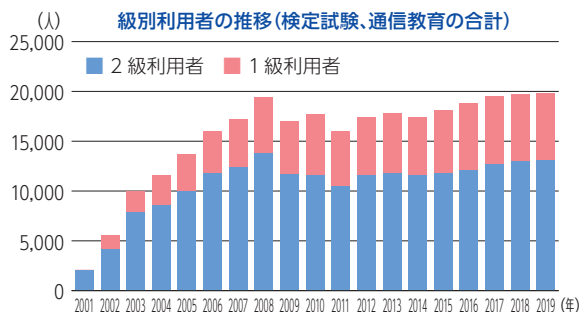
たとえば、、清掃のほかに、
不具合を発見 できたり、
不具合の発生を防止 できたり
など、生産活動を高める活動を
自主保全活動 では、
身に着けることができます。



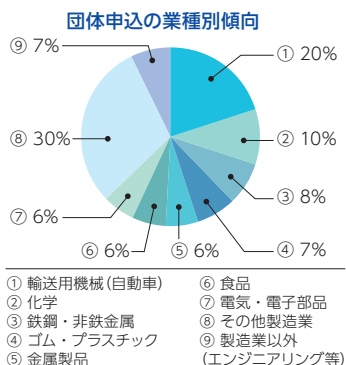
「自主保全活動」を身につけるための効率的な手段 ～自主保全士認定制度(検定試験・通信教育)～



職場や、自分自身の能力をさらに高めるために、
多くの製造業の方にご利用いただいている、
自主保全士認定制度 には是非、チャレンジしましょう!!
約 30 万人(19 年間累計)の方にご利用いただいています!!



参考：自主保全士申込データ





自主保全認定制度の詳細は、公式サイトをご覧ください !!

<https://www.jishuhozenshi.jp/>

